

整理番号	2024M-	138	補助事業者名	(福)みどりの風	事業項目名	2024年度介護老人保健施設みどりの杜特殊浴槽整備事業
------	--------	-----	--------	----------	-------	-----------------------------

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

作成日	2024	年	12	月	9	日	作成者	福島敏夫
-----	------	---	----	---	---	---	-----	------

(a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。				採点					
(1) 受益者(ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)								
(2) 事業内容	予定とおり、特殊浴槽を導入した。見積合せも上手くゆき、計画期間内に納品された。事故防止を目標の1つとしたこともあり、マニュアル整備の上、実務担当職員に操作説明を終えた後から運用開始とした。特殊浴槽整備により、運用回数増、業務の省力化、事故防止に努めることができ、各階に特殊浴槽を整備できたことで、感染症が発生しても継続した入浴サービスを提供できる環境が整った。								
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)		採点					
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)		採点					
	実施計画・体制	見積合せ等が順調に進み、無事導入することができた。導入機器は介護部長を中心に実施担当を交え適切に運用することができ、ご利用者にも好評である。他、感染症対策については、施設長を中心に導入機器運用方法を追加したマニュアルを更新中である。		採点 4					
(3) 達成目標	事業の実施結果	<table border="1"> <tr> <th>達成値</th> <th>達成状況</th> <th>具体的内容</th> </tr> <tr> <td>導入年月 2024年11月</td> <td>100%</td> <td>2024年10月31日に特殊浴槽を更新、翌日より操作マニュアルを作成、実務担当職員に操作説明し2024年11月4日より運用を開始することができた。</td> </tr> </table>	達成値	達成状況	具体的内容	導入年月 2024年11月	100%	2024年10月31日に特殊浴槽を更新、翌日より操作マニュアルを作成、実務担当職員に操作説明し2024年11月4日より運用を開始することができた。	採点 4
	達成値	達成状況	具体的内容						
導入年月 2024年11月	100%	2024年10月31日に特殊浴槽を更新、翌日より操作マニュアルを作成、実務担当職員に操作説明し2024年11月4日より運用を開始することができた。							
事業の成果・波及	<table border="1"> <tr> <th>達成値</th> <th>達成状況</th> <th>具体的内容</th> </tr> <tr> <td>①運用回数6回 ②業務の効率・省力化 ③マニュアルの更新 ④事故防止</td> <td>①80% ②50% ③50% ④100%</td> <td>①週2回から週6回に変更することはできなかったが、利用者の入退所による対象者の増減もあり、実利用者数は3人/日で±0人であった。(更新前機器と同数) ②入浴介助に必要な人数を2~3人から1~2人に減らすことはできたが、入浴介助に要する総時間を短縮することはできなかった。 ③入浴業務マニュアルを更新した。感染症対応マニュアル更新は目下作業中である。 ④導入後から本紙作成までの間、事故を起こさず運用できている。</td> </tr> </table>	達成値	達成状況	具体的内容	①運用回数6回 ②業務の効率・省力化 ③マニュアルの更新 ④事故防止	①80% ②50% ③50% ④100%	①週2回から週6回に変更することはできなかったが、利用者の入退所による対象者の増減もあり、実利用者数は3人/日で±0人であった。(更新前機器と同数) ②入浴介助に必要な人数を2~3人から1~2人に減らすことはできたが、入浴介助に要する総時間を短縮することはできなかった。 ③入浴業務マニュアルを更新した。感染症対応マニュアル更新は目下作業中である。 ④導入後から本紙作成までの間、事故を起こさず運用できている。	採点 3	
達成値	達成状況	具体的内容							
①運用回数6回 ②業務の効率・省力化 ③マニュアルの更新 ④事故防止	①80% ②50% ③50% ④100%	①週2回から週6回に変更することはできなかったが、利用者の入退所による対象者の増減もあり、実利用者数は3人/日で±0人であった。(更新前機器と同数) ②入浴介助に必要な人数を2~3人から1~2人に減らすことはできたが、入浴介助に要する総時間を短縮することはできなかった。 ③入浴業務マニュアルを更新した。感染症対応マニュアル更新は目下作業中である。 ④導入後から本紙作成までの間、事故を起こさず運用できている。							
(4) 情報発信	事業の実施結果	<table border="1"> <tr> <th>達成値</th> <th>達成状況</th> <th>具体的内容</th> </tr> <tr> <td>①風のささやき掲載 ②ポスター作製・掲示 ③ホームページ掲載 ④SNS投稿</td> <td>①100% ②100% ③100% ④100%</td> <td>①12/1発行に発行した機関誌に別紙として添付し、利用者、家族、関係先計190件に送付した。 ②①で作成した別紙を特殊浴槽を設置した浴室入口、施設内エレベーター、来訪者玄関に掲示した。 ③12/5ホームページに「補助事業完了」と題し、完了報告書別紙5広報資料の内容を公開した。 ④12/6法人でアカウントを所有するFacebook、Instagram、Xに投稿した。</td> </tr> </table>	達成値	達成状況	具体的内容	①風のささやき掲載 ②ポスター作製・掲示 ③ホームページ掲載 ④SNS投稿	①100% ②100% ③100% ④100%	①12/1発行に発行した機関誌に別紙として添付し、利用者、家族、関係先計190件に送付した。 ②①で作成した別紙を特殊浴槽を設置した浴室入口、施設内エレベーター、来訪者玄関に掲示した。 ③12/5ホームページに「補助事業完了」と題し、完了報告書別紙5広報資料の内容を公開した。 ④12/6法人でアカウントを所有するFacebook、Instagram、Xに投稿した。	採点 4
	達成値	達成状況	具体的内容						
①風のささやき掲載 ②ポスター作製・掲示 ③ホームページ掲載 ④SNS投稿	①100% ②100% ③100% ④100%	①12/1発行に発行した機関誌に別紙として添付し、利用者、家族、関係先計190件に送付した。 ②①で作成した別紙を特殊浴槽を設置した浴室入口、施設内エレベーター、来訪者玄関に掲示した。 ③12/5ホームページに「補助事業完了」と題し、完了報告書別紙5広報資料の内容を公開した。 ④12/6法人でアカウントを所有するFacebook、Instagram、Xに投稿した。							
競輪・オートレース補助金による事業であること	<table border="1"> <tr> <th>達成値</th> <th>達成状況</th> <th>具体的内容</th> </tr> <tr> <td>①風のささやき掲載 ②ポスター作製・掲示 ③ホームページ掲載 ④SNS投稿</td> <td>①100% ②100% ③100% ④100%</td> <td>①~④全てに、競輪の補助事業を受けて実施した者である旨を明記した。</td> </tr> </table>	達成値	達成状況	具体的内容	①風のささやき掲載 ②ポスター作製・掲示 ③ホームページ掲載 ④SNS投稿	①100% ②100% ③100% ④100%	①~④全てに、競輪の補助事業を受けて実施した者である旨を明記した。	採点 4	
達成値	達成状況	具体的内容							
①風のささやき掲載 ②ポスター作製・掲示 ③ホームページ掲載 ④SNS投稿	①100% ②100% ③100% ④100%	①~④全てに、競輪の補助事業を受けて実施した者である旨を明記した。							
(5) 自己評価の体制	2024年12月4日に介護部を中心に効果測定を実施、自己評価結果については12/10にホームページに掲載した。			採点 3					

(b) 総合評価

総合評価点	4
-------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊浴槽をシャワー式からお湯に浸かれる浴槽式に更新。ご利用者からも「肩までお湯につかわれて嬉しい」と喜びの声が聞かれた。 ・介護職員の負担は、電動昇降式ストレッチャーに更新されたことで入浴介助に携わる職員を減員できるまで軽減できたが、手間は減らすことができず、入浴に係わる時間そのものは減少させられなかった。 ・操作マニュアルを作成し職員に周知してから運用を開始した効果もあり、導入から報告書作成までの間、事故は発生していない。 ・各階に特殊浴槽を完備することができたので、感染症が発生しフロア間移動が制限されても入浴できる環境が整った。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊浴槽をニーズに合わせて更新しただけで、多くの課題を解決することができた。 ・機器を更新しても入浴に係わる時間や工数を減らすことはできなかった。介助には多くの人の手が必要であることを再認識した。 ・新たな機器には、専用の消毒液や指定された清掃用具、消耗品となるマット類に機器の保守など安全に使うための諸条件があり、新たなコストが発生する。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってほしい点	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の更新で多くの課題を改善できたが、他方でそれを利用する職員の意識が重要なポイントとなると理解した。機械の多くの機能は人を補助するものであり、主体はあくまでも介護職員である。高温で自動停止する電動昇降機だが、人がお湯に浸かる温度は高いだけではなく低くても不適切であり、浴槽の温度は好みもまちまちである。介護職員が利用者を考え、機器の性能を上手に利用し、機器に任せきりではなく意識をもって介入することではじめて良いサービスが提供できるのだと思った。今回の事業をおして得た知見をもって今後も鋭意努力していきたい。

整理番号	2024M-	138	補助事業者名	(福)みどりの風	事業項目名	2024年度介護老人保健施設みどりの杜特殊浴槽整備事業
------	--------	-----	--------	----------	-------	-----------------------------

別紙 JKA補助事業 2024年度 事前計画／自己評価書(5／5)

(c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因			(1) 経費	補助事業者の協力もあり、予定日までに納入、運用を開始することができた。	
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
		*	(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ (進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更 (主に建築)		
			(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
		(15) その他			
		(16) 特になし			